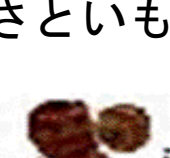
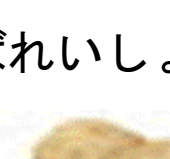


野菜の需給・価格動向レポート(平成25年6月3日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		4月の価格動向		5月の価格情報			生育及び価格の6月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック別 平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック別平均販売価額			
					下旬	上旬		中旬
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div>	88.05	107	88.05	63	58	・入荷見込量：17,310t（102） ・主産地：千葉（46）、茨城（21）、群馬（7）、東京（5）	・千葉産は、生育が順調で、今後は上旬に出荷のピークを迎え、出荷量が増加する見込み。茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		83.73	100	83.73	84	63	・入荷見込量：4,100t（94） ・主産地：茨城（26）、愛知（25）、兵庫（14）、福岡（7）、大分（6）	
	<div>ねぎ</div>	264.1	229	264.1	279	275	・入荷見込数量：4,310t（100） ・主産地：茨城（66）、千葉（20）、輸入（5）	・茨城産は、夏ねぎの出荷となり肥大も良好で、平年並みの出荷となっている。今後は下旬から7月のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。千葉産も、夏ねぎの出荷となり生育が順調で、中旬から出荷量が増加する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		334.73	292	334.73	333	295	・入荷見込数量：250t（117） ・主産地：徳島（25）、香川（20）、三重（14）、奈良（10）、高知（10）、大阪（9）、愛媛（6）	
	<div>はくさい</div>	67.05	56	67.05	47	34	・入荷見込量：5,580t（100） ・主産地：長野（53）、茨城（31）、群馬（13）	・長野産は、出荷が開始となり、生育の遅れも回復し、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、出荷の終盤を迎え減少傾向であるものの、平年を上回る出荷がしばらく続く見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれ、かつ、需要が弱いことから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。 （※トピック欄参照）
		77.96	63	77.96	67	58	・入荷見込量：2,900t（93） ・主産地：長野（81）、茨城（13）	
	<div>ほうれんそう</div>	376.1	619	376.1	479	386	・入荷見込量：1,510t（104） ・主産地：群馬（34）、茨城（18）、岩手（15）、栃木（14）、埼玉（6）	・群馬産は、遅れていた高冷地の生育が回復し、今後は平年並みの出荷となる見込み。茨城産も、平年並みの出荷の見込み。岩手産は、遅れていた生育が回復し、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		396.89	594	396.89	463	449	・入荷見込量：510t（100） ・主産地：岐阜（76）、群馬（10）、北海道（6）	
	<div>レタス</div>	156.23	226	156.23	134	109	・入荷見込量：7,960t（100） ・主産地：長野（73）、群馬（20）	・長野産は、4月下旬の降雪の影響で凍霜害が出ており、品質の低下が見られるものの、今後は品質が改善し、平年並みの出荷となる見込み。 ・長野産の品質の改善が見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		165	242	165	170	123	・入荷見込量：1,700t（101） ・主産地：長野（96）	
	<div>たまねぎ</div>	76.15	57	71.02	58	61	・入荷見込量：9,970t（105） ・主産地：佐賀（50）、兵庫（11）、香川（9）、輸入（9）、愛知（2）	・佐賀産は、露地物の早生の出荷が終盤を迎え、中晩生の出荷となり貯蔵ものにまわるものも多くなることから、今後は出荷量が減少する見込み。兵庫産は、平年並みの出荷となっているものの、今後は、最近の少雨の影響による玉の肥大不足が懸念される。 ・佐賀産の出荷の減少が見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		76.15	61	71.02	60	59	・入荷見込量：3,500t（100） ・主産地：兵庫（67）、佐賀（21）	
果 菜	<div>きゅうり</div>	253.95	213	189.84	189	153	・入荷見込量：7,470t（100） ・主産地：埼玉（32）、群馬（16）、福島（12）、茨城（10）、千葉（9）、栃木（6）	・埼玉産は、ピークを過ぎ、出荷量はピーク時には及ばないものの、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、成り疲れと曇天により、少なめの出荷量となっており、今後は出荷の終盤を迎え、中旬までの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷の減少が見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		242.77	184	177.22	179	135	・入荷見込量：1,600t（89） ・主産地：宮崎（31）、愛媛（11）、群馬（9）、香川（8）、高知（8）、北海道（7）、徳島（6）	
	<div>トマト</div>	339.78	339	209.59	296	284	・入荷見込量：9,400t（100） ・主産地：栃木（20）、茨城（14）、愛知（13）、千葉（12）、熊本（12）、群馬（6）、埼玉（5）	・栃木産は、生育が順調で着果も良く、順調な出荷が中旬まで続く見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、平年を上回る出荷となっているものの、最近の曇天等の影響で出荷量が減少する見込み。千葉産及び熊本産は、生育が良好で、上旬まではまとまった量の出荷となるものの、その後は減少傾向となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		321.78	349	228.53	314	293	・入荷見込量：2,000t（101） ・主産地：熊本（33）、愛知（15）、石川（11）、福岡（11）、北海道（9）	
	<div>なす</div>	347.77	341	297.07	329	308	・入荷見込量：4,220t（100） ・主産地：高知（34）、福岡（17）、群馬（16）、茨城（7）、栃木（7）、埼玉（3）	・高知産は、生育が順調で平年並みの出荷となっているものの、出荷の終盤を迎えることから、今後は出荷量が減少する見込み。群馬産は、生育が順調で肥大も進み、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		330.95	324	271.01	319	305	・入荷見込量：1,150t（110） ・主産地：高知（24）、大阪（21）、熊本（19）、福岡（12）、岡山（9）	
	<div>ピーマン</div>	308.36	423	308.36	375	278	・入荷見込量：2,530t（100） ・主産地：茨城（88）	・茨城産は、生育が順調で、平年を上回る出荷となっており、今後も順調な出荷が続く見込み。 ・茨城産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
		283.1	347	283.1	337	233	・入荷見込量：420t（99） ・主産地：宮崎（50）、高知（25）、和歌山（10）、大分（8）	
根 菜	<div>だいこん</div>	86.59	82	86.59	90	71	・入荷見込量：8,140t（98） ・主産地：青森（54）、千葉（31）、北海道（6）	・青森産は、遅れていた生育が回復し、出荷開始となり、中旬から本格的な出荷となり、平年並み出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷となっているものの、出荷の終盤となり、中旬までの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
		94.24	55	94.24	58	53	・入荷見込量：2,400t（99） ・主産地：青森（36）、北海道（22）、長崎（13）、鹿児島（10）、岡山（6）	
	<div>にんじん</div>	156.99	135	156.99	124	120	・入荷見込量：6,380t（100） ・主産地：千葉（76）、埼玉（11）、輸入（5）	・千葉産は、生育が順調で肥大も進み、平年並みの出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産も、生育が順調で、上旬まではまとまった量の出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		148.36	129	148.36	117	105	・入荷見込量：2,300t（97） ・主産地：長崎（45）、和歌山（24）、徳島（12）、兵庫（7）、宮崎（6）	

種 類		4月の価格動向		5月の価格情報		生育及び価格の6月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		
			下旬		上旬		中旬
い も		－	154	－	220	280	・ 千葉産は、平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、離島中心の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれる中で、需要が弱いことから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
		－	188	－	336	335	
		131.8	86	131.8	90	96	・ 長崎産は、多めの出荷となっていたものの、今後は生育期の少雨の影響で小玉傾向となり、出荷量が減少する見込み。静岡産は、生育が順調で平年を上回る出荷となり、今後も多めの出荷の見込み。 ・ 静岡産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		131.8	85	131.8	95	104	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,019gで前年比109%、購入金額は、1,809円で同95%となり、購入数量は前年をかなり上回り、購入金額は前年をやや下回った。

また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、142円で過去5か年平均比81%、レタスは、307円で同83%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年			
	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	前年比	購入金額（円）	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95
5月	5,055	1,905	4,945	1,948		0		0
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0		0
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の月別小売価格（東京都区部）

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	426	91
5月	175	142	81	369	307	83
6月	140		0	338		0
7月	149		0	308		0
8月	138		0	414		0
9月	142		0	526		0
10月	150		0	467		0
11月	155		0	385		0
12月	148		0	495		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年5月の値は、5月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比84%の8万2千トン、加工野菜は、同103%の16万4千トン、野菜全体は、同96%の24万7千トン、うち中国は同94%の12万1千トンとなった。生鮮野菜は前年を大幅に下回り、加工野菜はやや上回り、野菜全体はやや下回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成23年		平成24年		平成25年1～4月		平成25年4月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	310,935	79	82,364	84
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	593,595	99	164,363	103
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	904,530	91	246,727	96
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	444,907	89	120,678	94
中国産シェア	52		51		49		49	

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成24年4月(A)	平成25年4月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	30,620	20,245	66
	中国	21,499	16,685	78
	ニュージーランド	5,578	1,817	33
にんじん	合計	9,188	9,615	105
	中国	6,136	7,338	120
	ニュージーランド	1,305	1,142	87
ねぎ	合計	4,260	3,870	91
	中国	4,257	3,818	90

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年4月は、速報値である。

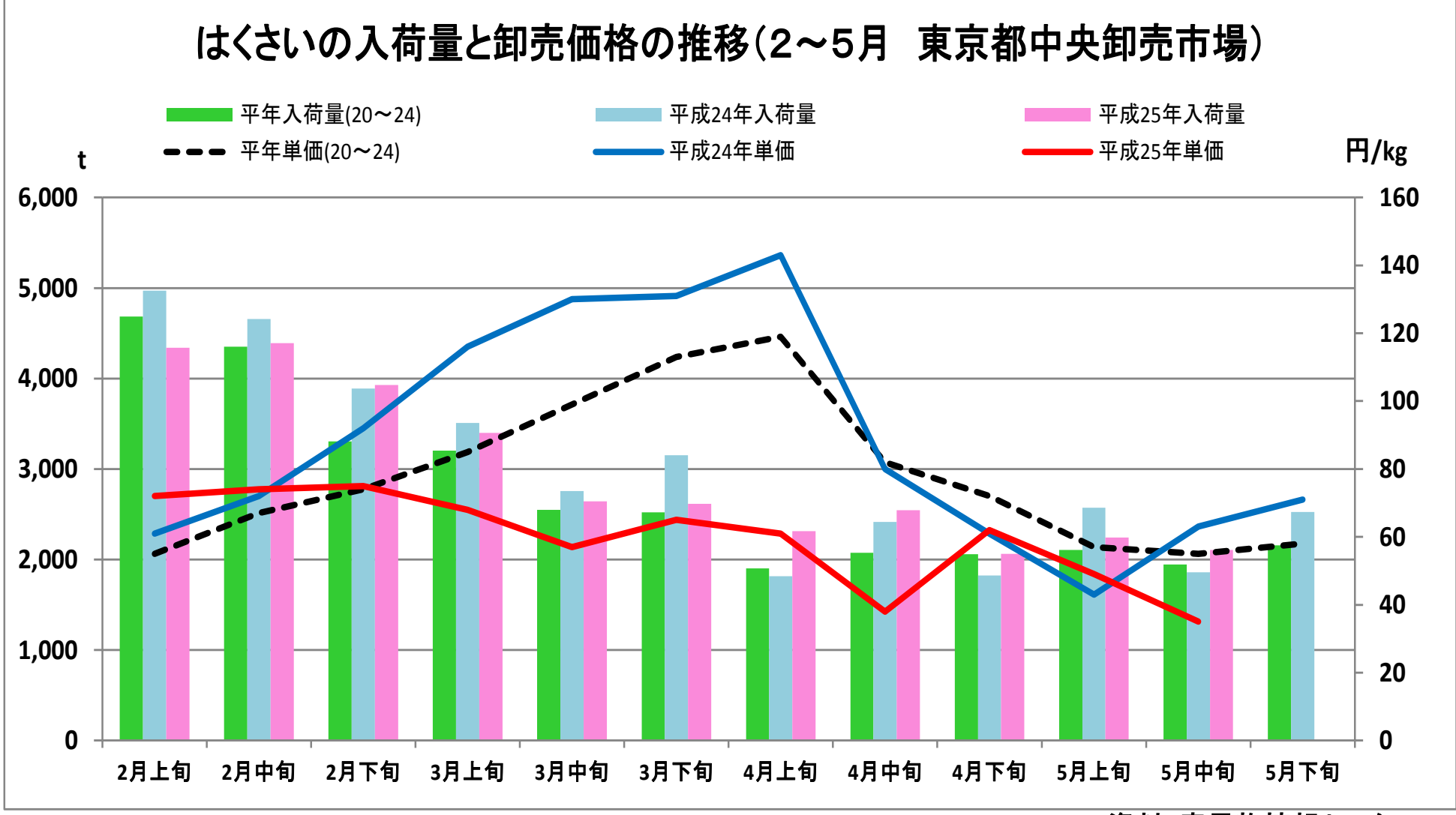
4 トピック ― はくさいの価格動向 ―

今年のはくさいの卸売価格は3月上旬より下落に転じ、それ以降、平年を下回って推移している。5月中旬の卸売価格は35円/kgとなり、直近10年で見ると、東日本大震災による原発事故の影響で価格が暴落した平成23年に次ぐ低い水準になっている。

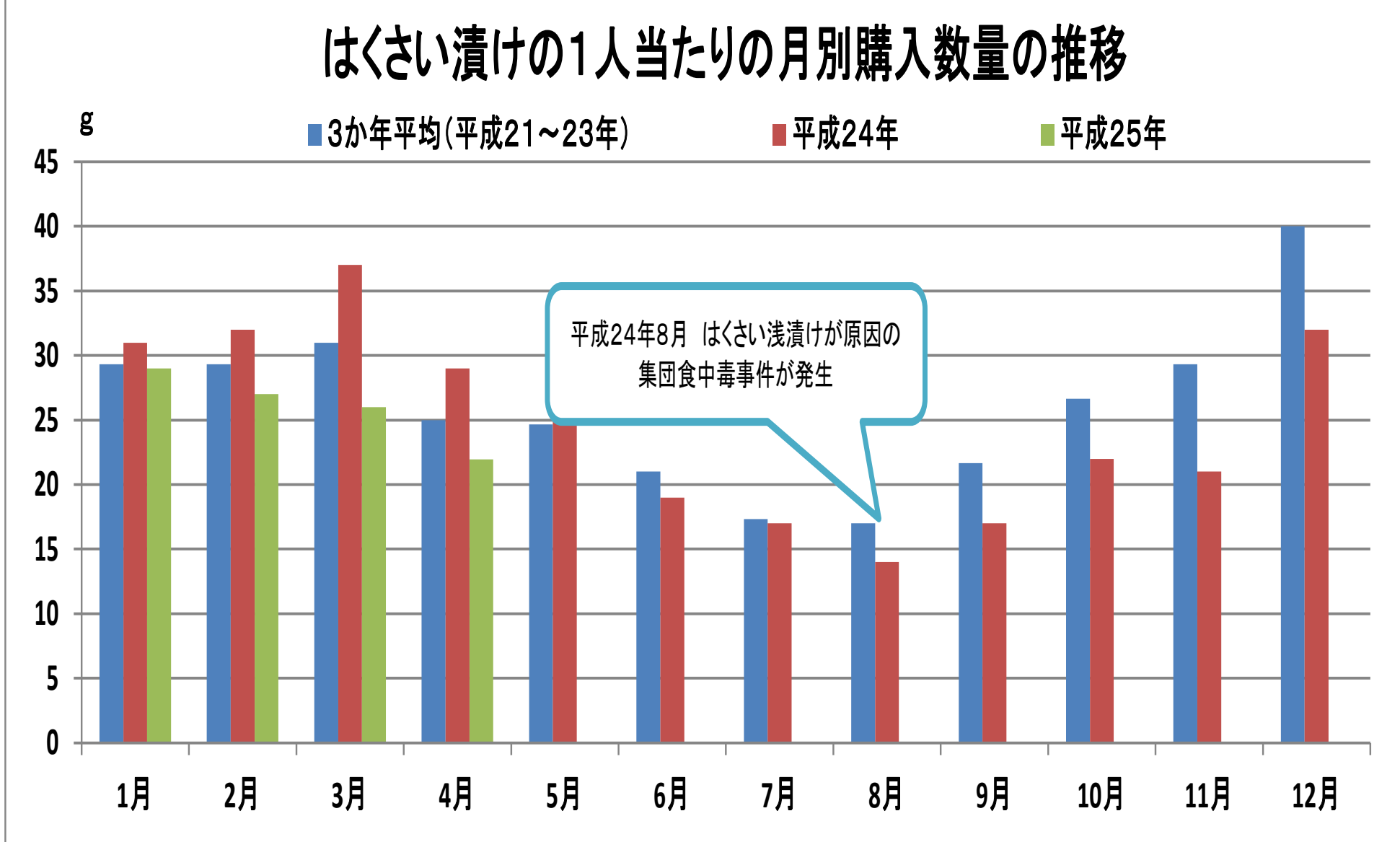
これは、
① 主産地である茨城の天候がはくさいの生育に適した状況で推移し、ほとんどの旬で平年を上回る入荷量となった一方で、
② 需要面では、昨年の2～4月は、はくさい漬けの消費が堅調であったことから、漬物用のはくさいが不足し、業務筋が市場から買い入れたこと等により、価格が高騰したのと対照的に、今年は、昨年8月に北海道で発生した浅漬けが原因の集団食中毒事件の影響で、はくさい漬けの需要が落ち込み、現在も需要が回復していないこと等によるものと思われる。

今後は気温の上昇に伴い、はくさいは、家庭での消費量が落ち込む季節となる。一方、供給面では、茨城産に続き、後続産地の長野産も生育が順調で出荷が開始していることから、今後も潤沢な供給が見込まれ、漬物需要の回復がなければ、漬物加工用に生産されたはくさいが市場に流れ、さらに価格を下げる可能性もある。

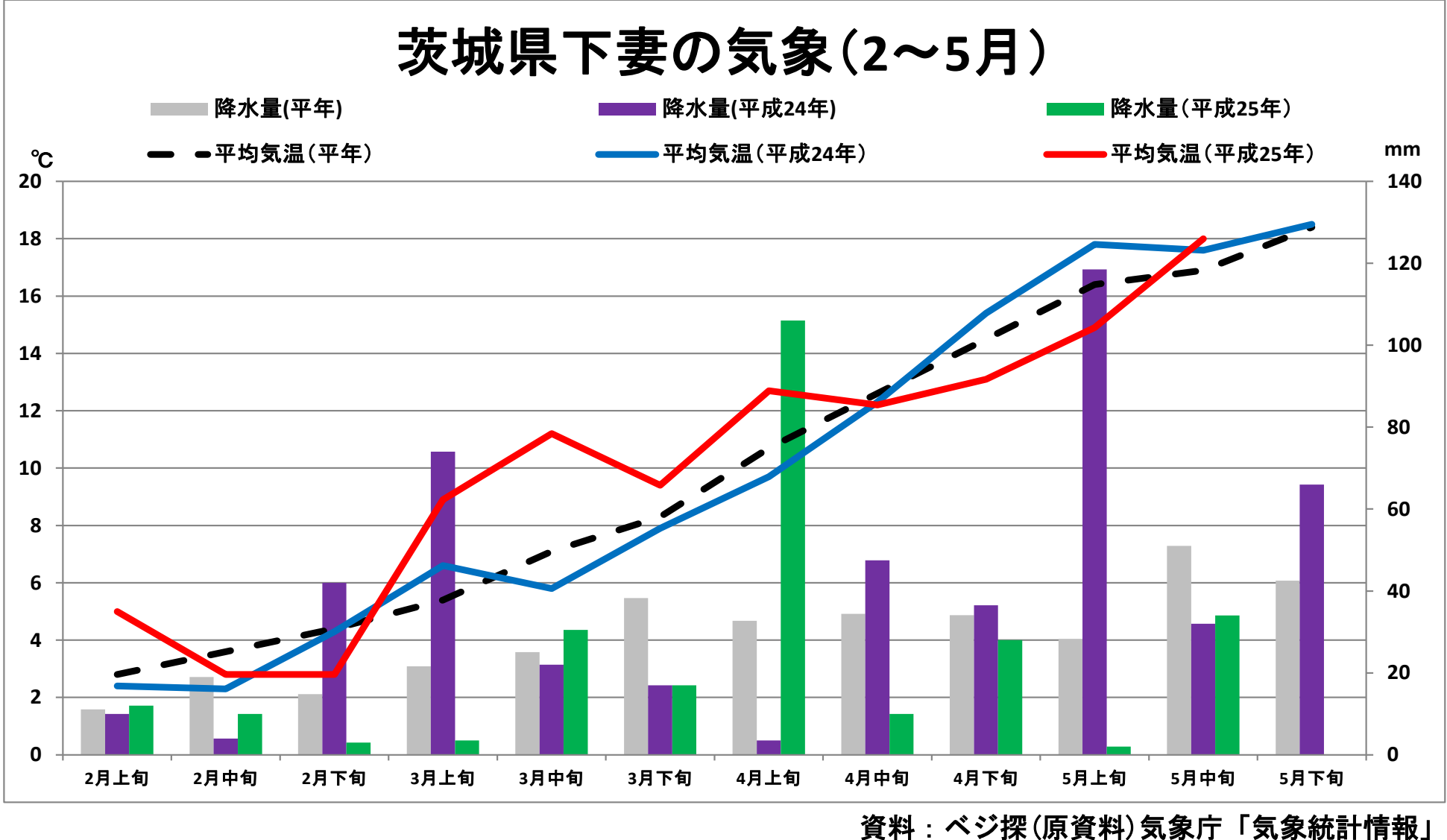
このような状況を関係者で十二分に共有し、新たなメニューの提案等により、積極的な消費拡大の取組みを早急に進めるとともに、次年度以降の需要動向を見据えた生産のあり方について、十分な検討を行うことが急務になっている。



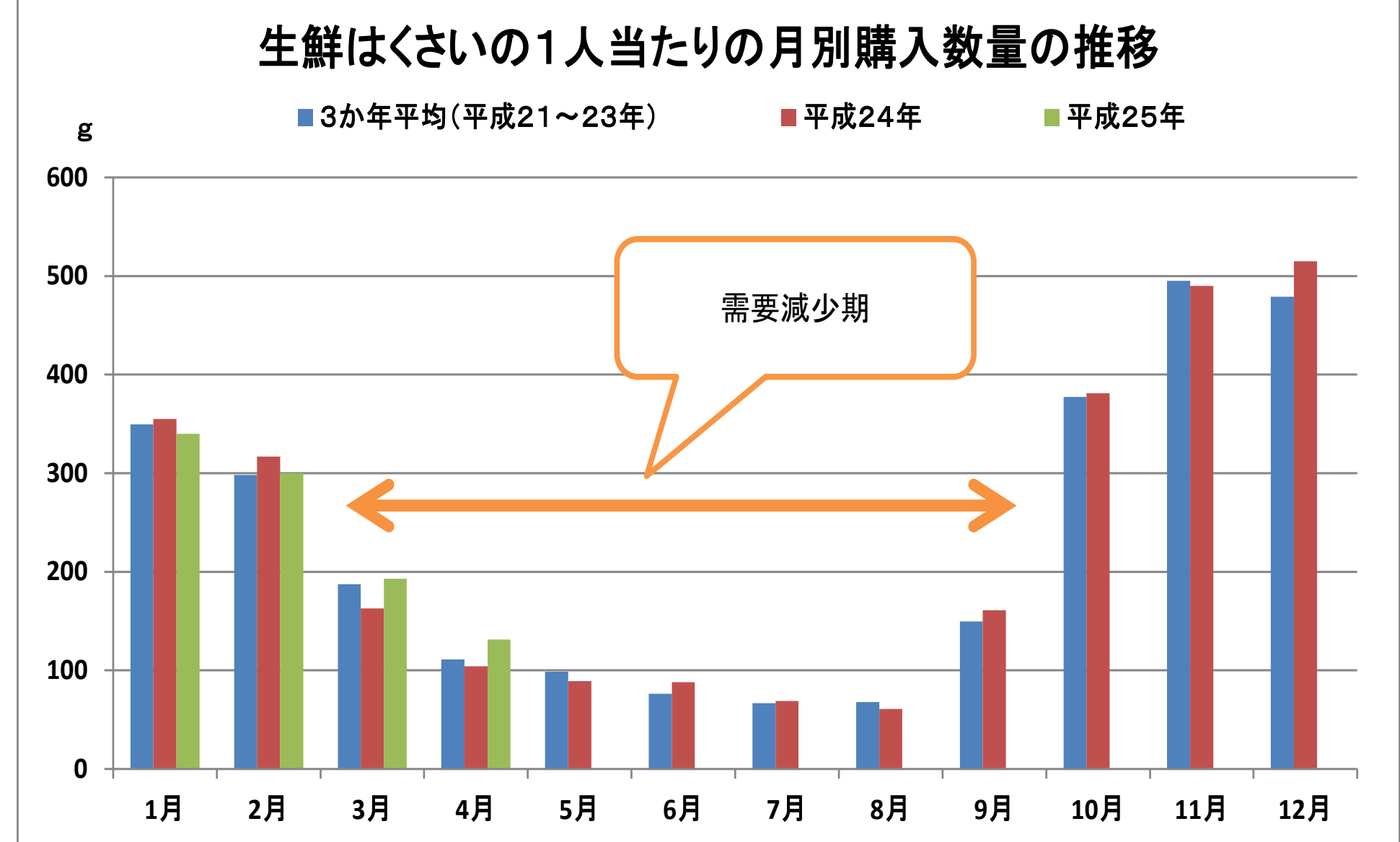
資料：青果物情報センター



資料：ベジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」



資料：ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。